

# 卓越した技術、功績称え 「現代の名工」県内から2人

卓越した技能を持つ人を厚生労働大臣が表彰する本年度の「現代の名工」に、佐賀県内から2人が選ばれた。鋳造の技術に優れた鹿島市の潮上政徳さん(55)と、婦人服のオーダーメードを手掛ける西松浦郡有田町の金武節子さん(76)で、女性の選出は県内で初めてになる。2人の業績と喜びの声を紹介する。

□3面参照

溶かして金属型に流し込む「鋳造」の技術に優れた潮上政徳さん(鹿島市)の東軍機工  
潤物工  
潤上政徳さん(55) 鹿島市  
鹿島市の東軍機工  
溶かした金属を型に流し、はじや面回きを伝える  
込んで造形する「鋳造」  
れたう」と話す。  
の技術を磨いた。製品は、  
大型船舶の運航を支える  
部品になる。一人の技術  
者として受賞を喜び、「  
業小屋によく遊びに行つ



## 父の教え胸に品質追求

たといふ。「段取り7、仕事ご、余裕で(仕事の)出し無し」。父の教えを大切に、一つ一つの受け継ぎ合いの品質を追求してきた。  
塙田義高を卒業し、  
1983年に入社。先輩たる教わりながら、  
技術を習得した。一度  
に数ヶ単位の溶かした鉄  
を鋳込み、強度が求め  
られる部品「シリンドラ  
イド」の製造に従事し  
た。現在は、製造の最前線  
から離れ、後進育成に当  
たる。工業高校での講習  
にも出向き、鋳造の技術  
を教えている。「型の中  
でどう固まるか、鋳物は  
最後まで分からない奥深  
さがある。継承のため  
大工の職人だった父の作  
りへの思いは強かつた。ものづく  
りへの思いは強かつた。

（中島幸毅）